

2023年日本平和大会in鹿児島ニュースno.5



発行: 2023年日本平和大会実行委員会 (事務局: 日本平和委員会内) 2023/8/31
Tel 03 (3451) 6377 Fax 03 (3451) 6277 Email: info@j-peace.org

台湾問題をあおり大軍拡 許さぬ世論と運動を大会へ 第4回実行委員会



23年日本平和大会実行委員会は30日午前、第4回実行委員会を開催。9中央団体と鹿児島実行委から13人参加しました。

はじめに、東森安保破棄中央実行委事務局長が情勢報告をかねた開会あいさつ。続いて千坂日本平和委事務局長が企画の準備状況を報告し、任務分担を含め討議、確認しました。

軍事強化による矛盾激化が集中する九州、鹿児島での大会。 ぜひ成功させよう 東森安保破棄実行委事務局長の開会あいさつ (要旨)

自民党の麻生副総裁は8日、台湾の台北市での講演で、「今ほど日本、台湾、米国などの有志国に強い抑止力を機能させる覚悟が求められている時代はない。戦う覚悟だ」「いざとなったら、台湾の防衛のために防衛力を使うという明確な意思を相手に伝えることが抑止力になる」と述べた。これは、日本が台湾問題に軍事介入することを公言した点で、憲法9条に反して他国の紛争に武力介入を表明した点で、断じて許されない。この発言について、麻生氏に同行した自民党の鈴木政調副会長が、「個人の発言ではなく、政府内部を含め、調整をした結果だ」とテレビ番組で発言している。アメリカが、台湾問題を煽り、東アジアで緊張を高めており、アメリカが引き起こす戦争に日本を巻き込ませないための運動強化が強く求められる。

岸田内閣は7月25日、各省庁が2024年度予算についての財務省への要求に制限をかける概算要求基準について閣議了解し、昨年まではなかった軍事費の特別枠をつくり、軍事費拡大路線を進めることを明らかにしている。

これにより防衛省は過去最大となる7兆7,385億円の概算要求を計上する最終調整に入ったと報じられている。この額は、これまでにない規模の増額となった23年度の当初予算に1兆円近くも積み増す(22年度当初比146%)ことになり、この概算要求通りの予算が成立すれば、日本の軍事費は12年連続で増額、10年連続で過去最大を更新することになる。

さらに、岸田大軍拡で「23年度から5年間で43兆円」といわれているが、米国からの兵器購入における後年度負担を加えれば43兆円でなく60兆円であり、大軍拡計画は「安保3文書」によれば5年ではなく10年と明記されている。このような大軍拡が、国民の暮らし、福祉、教育などを圧迫し、増税をもたらすことは必定であり、国民の要求を対置した運動が求められる。

軍事強化による矛盾激化がとりわけ集中する九州、鹿児島での平和大会開催の意義は大きく、成功のための奮闘を呼びかける。

開会集会の最後 激励の寄せ書き等を手渡そう！

開会集会の最後に、馬毛島の基地化に反対する種子島のみなさん10数名が登壇して訴えます。全国から激励の寄せ書きなどを準備し手渡ししましょう。

学習パンフ 都道府県扱い数、昨年をこえました！ さらに学習運動を広げていこう

■ 次回(第6回) 実行委員会 10月11日(水) 10時～ オンライン